

新型コロナウイルス感染症について、新しい動きがありましたのでお知らせします。

三重県に発令されていたまん延防止等重点措置は、3月7日に解除されました。

しかし、3月6日に県内で新たに確認された感染者は556人と、1日あたりの感染者数として決して少ない数ではありません。近隣府県でも感染者数は高止まりで推移し、愛知県、岐阜県、京都府、大阪府、兵庫県ではまん延防止等重点措置が引き続き適用されています。

今年になってからの市内発生状況を振り返ってみますと、1月には504人、2月には1,190人と、これまでにない大変多くの感染者が報告されているところです。また、3月についてはまだ初旬ですが、すでに171人という数字が上がっています。

県が取りまとめた年明け以降9週間の年齢別患者発生状況・感染経路別患者発生状況から、最近の傾向をお知らせします。1月中旬以降の年齢別発生状況では、20才未満の感染者がおよそ3分の1を占める状況で推移し、直近の週では35%に増えていきます。若い人の感染が大変多く、また高齢者の感染も多くなってきている状況です。

そして、感染経路別では飲食店由来が減少している一方、家族からの感染が徐々に増えてきていて、直近3週間は60%を超えています。私たちは、しっかりと家庭内感染に気を付けていかななくてはなりません。

こうした感染状況を受け、三重県では、まん延防止等重点措置解除後も命を守るための感染防止対策をしていこうということで、「三重県再拡大阻止重点期間」を設けました。期間は3月7日から3月21日までです。

この重点期間では、県民の皆さんへ次のことが呼びかけられています。

- ・マスク会食・黙食の徹底
- ・ワクチン3回目接種機会の積極的活用

感染が再拡大した際には、再度まん延防止等重点措置を要請することも見据えているとのことです。

また、引き続き次のことも呼びかけられています。

- ・県境を越える移動は生活に必要な場合を除き避ける
- ・同一グループの同一テーブルでの会食は4人以下で、2時間以内を目安
- ・体調に少しでも異変があれば、外出を控え、早期に受診
- ・基本的な感染防止対策の徹底

ただし、県境を越える移動をしないという点では、伊賀市は定住自立圏域及びいこか連携で近隣市町村と生活圏を共有していますのでご理解ください。

伊賀市としても、3月7日から3月21日までの重点期間中は、銀座通りの横断幕と

上野市駅の啓発看板設置、コミュニティバスにのまるのバスマスクなどで注意喚起を行っています。また、学校施設貸し出しについては引き続き新規予約を停止し、利用の自粛をお願いしてまいりたいと思いますので、ご理解いただきますようお願いいたします。

次に、ワクチン接種についてお伝えします。

新型コロナワクチンの追加（3回目）接種の対象者は、伊賀市に住民票がある2回目のワクチン接種完了者のうち、3回目接種日時点で18歳以上の人です。2回目を接種してから6カ月以上経過した人へ、順次接種券を発送しています。接種券が入った水色の封筒がお手元に届きますので、同封のチラシに記載の医療機関に接種の予約をしてください。使用するワクチンは、ファイザー社製または武田/モデルナ社製となります。

また、気がかりな人も多いと思われる小児へのワクチン接種についてです。伊賀市に住民票がある接種日時点で5歳以上11歳以下の子どもを対象にワクチン接種を実施します。こちらは、保護者の皆さんに接種による感染症予防効果と副反応のリスクの双方について理解いただいた上で接種をお願いします。使用するワクチンは、小児用ファイザー社製ワクチンです。

小児へのワクチン接種については、黄色い封筒で接種券を送付いたします。平成22年4月2日から平成29年2月28日生まれの人には3月3日に接種券を発送済みで、以降は5歳の誕生月の翌月10日に発送します。ワクチン接種に関する説明文書も同封していますので、内容をご確認いただき、保護者の意思に基づいて手続きをお願いいたします。

1回目、2回目のワクチン接種を受けていないという場合で接種を希望する人は、新型コロナワクチン専用コールセンターへお問い合わせください。接種が可能な医療機関などをご案内いたします。

【伊賀市新型コロナワクチン専用コールセンター】

フリーダイヤル：0120-849-064

受付：午前8時30分～午後5時（月～土）

ワクチンに関するさまざまなご心配については、三重県の相談窓口にお寄せください。

【新型コロナウイルスワクチン副反応相談窓口（副反応の質問や相談）】

電話：059-224-3326（24時間受付・土日祝も対応）

※対応言語：日本語、英語、中国語、韓国語、ポルトガル語、スペイン語

【新型コロナウイルスワクチン接種ホットライン（副反応以外のワクチン接種全般）】

電話：059-224-2825（午前9時～午後9時・土日祝も対応）

もし、感染が心配であるとか、帰省も含めた旅行をお考えの人は、PCR無料検査などが市内の医療機関や薬局で行われていますのでご利用ください。検査実施は期間を延長

し、3月31日までとなっています。

【無料PCR等検査の市内実施場所はこちらをご覧ください】

<https://www.city.iga.lg.jp/0000009918.html>

十分注意していても、新型コロナウイルス感染症にかかったかもしれない、発熱や咳など心配な症状が出たということもあるかもしれません。今の季節は花粉症と紛らわしいということもあります。そういうときには、まずかかりつけ医など身近な医療機関に電話で相談してください。かかりつけ医がない場合、または夜間や休診日などには、受診・相談センターに相談をしていただき、案内された医療機関で受診いただくようお願いいたします。

【受診・相談センター（土日祝も対応）】

・午前9時～午後9時：伊賀保健所 電話 0595-24-8050

・午後9時～午前9時：三重県救急医療情報センター 電話 059-229-1199

繰り返しになりますが、感染しないため、また感染を広げないために、感染リスクが高まる次の5つの場面にご注意ください。

【場面1 飲酒を伴う懇親会等】

大声、回し飲み、箸の共用により感染リスクが高まります。

【場面2 大人数や長時間に及ぶ飲食】

大人数・長時間での飲食は、飛沫の感染リスクが高まります。

「マスク会食」「黙食」を実践してください。

【場面3 マスクなしでの会話】

飛沫感染リスクが高まります。車中でも気をつけてください。

【場面4 狭い空間での共同生活】

長時間、閉鎖空間が共有されることで感染リスクが高まります。

【場面5 居場所の切り替わり】

休憩室や喫煙ルームに行くなど、気の緩みや環境の変化が感染リスクになります。

引き続きしっかりと感染防止対策を行い、この感染症を克服していきたいと思っております。気を緩めることなく頑張ってください。

2022（令和4）年3月7日

伊賀市長 岡本 栄